



世界遺産・国指定史跡
越中五箇山
相倉合掌造り集落

養蚕・民具・写真
展示館

「勇助」



世界遺産
相倉合掌造り集落

〒939-1191 富山県南砺市相倉591
TEL 0763-1661255
<https://yusuke-gokayama.com/>

越中五箇山 相倉
養蚕・民具・写真
展示館 「勇助」
開館時間／午前10時～午後3時
休館日／火曜日・正月・お盆(その他不定休)

五箇山は古来より
信仰に厚い地域です。
「勇助」の仏間や座敷も
ご覧下さい。



西立面図



北立面図

囲炉裏では
薪で火を焚き
いつでも温かい
お茶が飲めます。



合掌造り

それは山深い、豪雪地に住む先人の知恵でした。一階部分を宮大工が、そして二階、三階は地域の共同作業で、釘を使わず縄のみで堅牢に縛り、ピンとハネガイで強度の補強を補っています。この合掌造り勇助(屋号)は、明治元年に建てられた家を、明治の中頃に移築したものです。建物も大きく、材質・工法ともに当時の技術と労働力がうかがえるこの地域特有の民家です。一階のオエ(広間)はあらゆる生活の場、イロリに火が焚かれ、煮炊き・食事・団らん・接客の場。そしてその暖気は、二階のアマ(屋根裏へ)と広がり、アマは蚕を飼う大事な養蚕の場でもありました。床下では塩硝を作り、ニワ(土間)では紙漉きや蚕マユからの糸引きをしていました。

相倉と

合掌造り

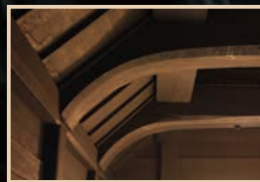
合掌造りの内部の様子が一階から二階、三階と見られます。



合掌造りの二階では養蚕業が営まれ、その当手を再現しています。

相倉のあゆみ、歳時記、世界遺産の話などを写真や解説パネルで紹介しています。

昔の生活道具、大工道具など、当時を偲ばせる写真と用具を展示しています。



チョンナ張り



ハネガイ



合掌とピン



囲炉裏の煙に燻された縄

